

家庭学習の手引き

中学校 1・2・3年生

1 めざす子どもの姿

1・2
年生

中学卒業後の進路をしっかりと踏まえ、基礎・基本的な学習を計画的・継続的に身に付けていきましょう。

学習時間のめやす

60分～120分

3年生

自分の進路実現に向けて、具体的な目標を自ら決め、粘り強い意志と取り組みをもって、継続しましょう。

学習時間のめやす

120分～150分

2 充実した家庭学習をするために・・・生徒と保護者の皆さんへ

(1) その日の復習、明日の予習、テスト前の事前対策を計画的に、継続的に

今日習ったことをその日のうちに復習し、明日の授業の予習することを、日々確実にしましょう。一方で、定期テストや実力テストがいつあるのか、カレンダーで確認し、計画的に対策を立てて、目標に向かって継続的に学習しましょう。

(2) 規則正しい生活リズムから、学習時間の確保を

起床・食事・就寝時刻を決め、規則正しい生活をした中から、家庭学習の時間を確保しましょう。部活動の長い夏と部活動の少ない冬との家庭生活の過ごし方の違いから、それぞれの時間割を作りましょう。それに従って、家庭からの支援をしっかり生徒に伝えておきましょう。

(3) 集中してできる学習環境、心の落ち着く人間関係作を

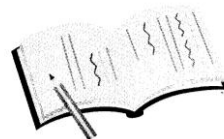
静かな中で集中してできる場所、教科書や資料、参考書等の配置など、必要な情報が入手しやすい環境を自分で整え、保護者に助言してもらいましょう。また、TVやゲーム、PCのスイッチを切るなど、けじめをつける勇気を身につけましょう。

一方で、中学では思春期を迎え、友人や先生、親との人間関係を学ぶ大切な時期でもあります。家族や信頼できる友との会話を大切にして、円滑なコミュニケーションをとっていきましょう。

3 こんな学習方法で、まずやってみよう・・・生徒の皆さんへ

国語

- ・国語は、毎日「提出ノート」があります。1日200字帳1ページの漢字練習が中心ですが、授業の内容によりプリント学習やワークブックを行うこともあります。
- ・漢字練習は、小学校で学習した漢字を繰り返し練習したり、問題集を使ってテスト形式で行ったりと、自分でやり方をきめて取り組みます。また、覚えた漢字は普段から積極的に使えるように心がけていきましょう。
- ・普段から本や新聞を読んだり、日記や生活記録を充実させたり（文章の量、漢字の使用、気持ちや考えを書く）するなど、毎日の生活で、学力を磨いていきましょう。
- ・中学校で学習する文章は、小学校と比べると長文になります。家でも教科書を読み学校で学習したことを再確認すると理解が深まります。そのとき、分からない言葉は積極的に辞書で調べて語彙を増やすように心がけましょう。



理科

1 授業のあった日に・・・

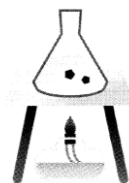
- ・授業のあった日の復習を学校配付のワークブックを使っています。答え合わせを必ず行い、できない問題はもう一度復習しましょう。

2 単元テストの前には・・・

- ・単元テストの前には、ワークブックの各単元毎のまとめをしましょう。各自で用意した課題提出用ノートに記入し、必ず答え合わせをして確認します。

3 定期テストの前には・・・

- ・定期テスト（期末テスト、中間テストなど）前には、教科書・ワークブック・資料集・単元テストプリントなどを中心に問題練習や不得意分野のまとめ、確認をしましょう。



社会



- 【地理】①教科書の統計資料を見て、特色を楽しんでつかむ。
②世界地図や日本地図を自分のノートに書き、その中に地形や気候、産業の特色などを記入していく。
③テレビの近くに地図を貼り、番組で取り上げられた場所を地図で確認する。
④世界の国名・首都名、都道府県名・県庁所在地名を位置も確認しながら覚える。
- 【歴史】①歴史マンガを見ながら世界や日本の大きなできごとの流れを(順序)をつかむ。
②年表を見ながら、日本の時代順序をよく覚える。その際、各時代の文化の特徴や内容も一緒に覚える。
③教科書に出てくる人物や建造物を覚える。
④家の周りの寺社や古い建物を調べてみる。また、地域の行事の由来についてお年寄りに聞いてみる。
- 【公民】①教科書の太字の基本用語を理解する。漢字の間違いをチェックしながら何回も書いて覚える。
②「難しい」と考えずに、少しずつ新聞を読んでみる。話題を多く持つと生活が豊かになり、おもしろく感じる。
③「ニュース番組なんかつまらない」と考えず、世の中の出来事に耳を傾けてみる。世界の動きに無関心な国民とならない。

数学



- ★ **数学には「提出ノート」があります。毎日大学ノート1ページ分の学習を行います。**
- ①「提出ノート」の内容としては、その日に授業で学習した内容の復習や問題集で似たような問題を解いたり、学校のドリル学習の見直しをしたりするなど、自分で課題をきめ、自分に必要な学習をします。
- ②提出ノートをやるときは、途中の計算や解き方も丁寧に書き、必ず答え合わせをしましょう。分かっているつもりでも勘違いしていることもあります。答え合わせによってそれを発見することができます。また、途中の計算が書いてあると、どこで間違えたかを見つけることができます。間違えた問題はどこで間違えたかを確認し、もう一度やり直します。間違えた問題をチェックしておき、何日かしたらもう一度その問題に挑戦し、確実に自分のものにしましょう。
- ③授業や提出ノートをやっている分からないところがあったら、提出ノートに質問を書くのもいいことです。「この問題がわかりません」というのではなく、「この問題のここまでは分かったのですが、この部分をどのようにすれば良いのでしょうか?」というように、どこでつまづいているかを具体的に質問できるようにしよう。もちろん、直接先生に質問してもよいです。
- ④数学では、教科書の特性から予習よりも復習が大事になります。特に学んだことを確実に自分のものにするために、繰り返しの学習が必要です。同じ問題でもできるようにするまで何回も挑戦してみましょう。

英語



- ★ **中学校での主な家庭学習は、1日1ページの提出ノートになります。**
- ①教科書を確認し、単語や文の確認・練習をしよう。
②その日の授業で学習した単語や英文を練習しよう。
③疑問点があったら、ノートに質問したいことを書いて、先生に聞いてみよう。
④1ページノートの他に、教科書の音読やワークを使っての復習をしてみよう。
⑤3年生は、学校で使用している参考書で積極的に問題を解いていこう。そのときには、専用のノートを用意して学習していこう。

授業で学習した知識は、時間が経つと忘れるものです。だから、繰り返しの家庭学習が必要です。積み重ねていくと、「わかった」「できた」と感じる自分に出会う時がきます。「出さなければいけないから…」とか、「適当にやっておけばいいから…」というような作業的な学習から、目標をもって計画的に進め、自分の疑問や驚き、感動に気づいて、自ら学んでいく家庭学習にしていきたいものです。その意味で、この『家庭学習の手引き』を参考にしてもらえれば幸いです。

～ 継続は力なり、夢をかなえる礎なり！ ～